

# 令和6年度 学校経営の改革方針

学 校 名	津市立誠之小学校	校長名	松島 克幸
児童数	499名	学級数	23学級
		教職員数	60名

- 1 めざす学校像** ◎学校教育目標…「自ら学び心豊かでたくましい子どもを育てる」  
◎学校経営の基本方針…「子ども第一」の学校経営

<p><b>○めざす学校像</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「わかる授業」を実施する学校</li> <li>・心豊かな子どもを育む学校</li> <li>・家庭・地域と共に</li> </ul> <p>子どもを伸ばす学校</p>	<p><b>○めざす子ども像</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学ぶ楽しさがわかり、</li> <li>意欲的に活動する子ども</li> <li>・自他を大切に思う子ども</li> <li>・健康で安全に過ごす子ども</li> </ul>	<p><b>○めざす教師像</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもを大切にし、子どもとともに学び、自己を高め合う教師</li> <li>・「チーム誠之」としての自覚をもち、</li> <li>率先して課題解決に努める教師</li> <li>・子ども、保護者や地域から信頼される教師</li> </ul>
--	--	---

## 2 現状と課題

令和5年度、学校創立150年を迎えた。校区は、公共施設や商店街と住宅地が大部分を占める一方で、農耕地も有する地域である。全津市でみれば少子高齢化が進む一方、本校区は旧武家屋敷が新しくアパートやマンションに建て替わり、住民の転出入が頻繁にあることから、年々児童数が増加傾向にある。それだけに、地域での子どもたちの繋がりだけでなく、保護者の繋がりもつくりにくい現状がある。児童は、全体的に活動的で人懐っこいが、厳しい家庭環境におかれている児童や自己肯定感が低い児童が目立ち、学習面や生活面において課題がある。また、生徒指導や不登校児童への対応、配慮を要する児童への対応が課題であり、今年度、通級指導教室、校内教育支援センターを設置し、よりきめ細かな児童への対応に努めている。また、教職員の働き方改革を推進するとともに、教職員のチームワークを重視し、同僚性を高め、課題を共有するだけでなく、組織で課題解決に向け積極的に取り組めるよう風通しの良い職場環境づくりに努めている。

## 3 重点目標と具体的な行動計画

### (1) 学びと指導の改善（子ども第一）

#### ○ 基礎学力の定着と学ぶ力の育成

- ・GIGA スクール構想のもと、「わかる授業」の研究をするとともに授業改善を推進する。
- ・「全国学力・学習状況調査」及び「みえスタディ・チェック」「学 viva」等を活用した学力向上の取組を実践する。
- ・保・幼・小が協働し、架け橋期のカリキュラムを作成・実施・改善を図る。(幼・保・小の職員交流 学期1回以上)

#### ○ 運動習慣の定着と体力向上・健康増進の取組を推進し、新体力テスト等で成果を検証する。

#### ○ 生徒指導の強化充実 ・なかまづくりと出会い学習による人権教育の充実を図る。

- ・生徒指導体制の確立と教員の実践力の向上を図る。 ・校内教育支援センターを設置し、児童の居場所を確保する。

#### ○ 個々の教育的ニーズに応じた適切な支援 ・通級指導教室を設置するとともに、特別支援教育推進体制の充実と具体的な指導方の教育実践に取り組む。

### (2) 学習環境の改善

#### ○ 地域・保護者との協働による学ぶ力を育む学習環境づくり ・スクールサポーター（学習支援）を募集し、積極的に活用する。

- ・図書ボランティアや図書館司書による図書館整備、及び読み聞かせ活動を推進する。

#### ○ 環境整備と施設改善の推進 ・「花いっぱい」の栽培活動に取り組む。 ・計画的な修繕と PTA との協働作業を進める。

#### ○ 子どもの自主性の醸成 ・児童が主体的に取り組む行事等の工夫と支援をする（学級や全校で 学期2回以上）。

- ・児童会活動として「縦割り集会」を実施する（学期1回以上）。 ・学校全体の取組として「挨拶・歌・掃除」指導を徹底する。

### (3) 保護者・地域との連携の改善

#### ○ 地域の人材や教材の積極的な活用（各学年 学期2回以上）

#### ○ 保護者への情報発信及び子育て支援

- ・学級・学年だよりや学校だよりを充実する（月1回以上）。 ・保護者との連絡を密にし、繋がりを強化する。

#### ○ 学校評価の実施及び報告と活用 ・学校運営協議会を開催する。・学校自己評価・教育活動アンケートを実施する。

#### ○ 関係団体との連携による地域行事への教職員の積極的参加

### (4) 安心・安全の改善

#### ○ 「安心」と「思いやり」の学校づくり

- ・子どもを取り巻く環境に細心の注意を払い、教育活動や行事の内容を検討し、必要な改善を積極的に実行する。
- ・朝の子どもの登校状況確認と家庭連絡（全職員で 毎朝）、及び児童との対話（毎日 個々に 1回以上の関わり）を実施する。
- ・食育と給食指導を充実させるとともに、食物アレルギー対応を徹底する。

#### ○ 安全教育の充実 ・知識と実践力を高めるため、交通安全教室や防犯教室、児童引き渡し訓練を実施する。

- ・災害時の適切な行動を習得させるため、避難訓練（地震・火災・不審者侵入）を実施する（学期1回）。

#### ○ PTA や地域ボランティア等との連携 ・保護者や見守り隊等と連携し、街頭指導と挨拶指導を計画的に実施する。

#### ○ 職員の健康管理の推進 ・職場の環境づくりに努める（整理・整頓・清潔・清掃）。

- ・総勤務時間の縮減に向けて、毎週金曜日を定時退校日（午後5時の勤務終了）に指定し、時間外労働時間を1月あたり30時間以内に設定するとともに、昨年度比で年休取得日数を+3日とし、ワーク・ライフ・バランスの維持に努める。

学校 HP



